

事務事業	90	防災ボランティアの育成					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり					
施策	02	地域ぐるみの防災体制づくり					
事業内容							
目的	防災サポーターとして再編成し、活発な活動を目指します。防災サポーター制度の発足を機に、当区の防災指導員と協力し、各防災区民組織の活性化を図ります。						
対象・手段	平常時の対策、災害時の活動に関する専門的な知識を持った防災サポーターの活動は、地域の防災力の向上を行うためには大きな力になっています。その活動も、平常時は防災対策全般の企画・相談・指導等、多岐にわたっています。災害時はその知識を活かし、避難所での迅速な活躍ができます。						
成果(事業が意図する成果)							
現在の防災サポーターは、いままで避難所情報ボランティア・防災アドバイザーとして防災知識の高いスキルを持ち、地域の防災活動で活躍していました。地域と連携した防災意識の向上と災害時の救出・救護体制を強化することにより地域防災力の向上が図られます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
防災サポーター登録数	登録防災サポーターの育成	(平成19年度) 年度に					
		(60人) の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	人	40.00	40.00	60.00	60.00	
	実績1	人	35.00	35.00	58.00	56.00	
	= /	%	87.50	87.50	96.67	93.33	
	目標値2		110.00	110.00	0.00	0.00	
	実績2		84.00	84.00	0.00	0.00	
	= /	%	76.36	76.36	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	60.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	56.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	93.33	
	事業の実施内容						
平成17年度	防災サポーター58名登録(定員60名、防災アドバイザーと避難所情報ボランティアを統合。18.3.1発足)						
平成18年度	防災サポーター56名登録(2名転出により減員) スキルアップ研修の実施。防災イベントへの参加、協力。						

部名称		区長室		課名称		危機管理課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	596	262	308	1,314	
	人件費	千円	0	0	0	2,192	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	596	262	308	3,506	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	596	262	308	3,506	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	596	262	308	3,506	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.20	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.20	
事業に関する検討課題							
防災サポーターの活動範囲を広げ、防災区民組織への浸透を図る必要があります。							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	現在、定員60名のところ、56人の登録となっている。転居等により減少したものであるが、新規の加入を図っていくものとします。				
	効率性	3	区民の能力や資格等を地域防災行動力の向上に活用するため、研修や講習、防災イベントへの参加については、項目や実施方法を工夫しています。				
	実施の成果	2	各種防災イベントや地域の防災訓練に積極的に参加し、防災意識の普及啓発に努めています。				
	行政の関与	3	区民の自主的な活動を地域防災行動力の向上を目指すため、その育成、フォローを区が行う必要があります。より高度な研修を実施していきます。				
	妥当性	2	防災区民組織の育成という面から、これからも指導者への支援は必要です。				
	施策寄与度	3	防災区民組織は高齢化等の課題を抱えているため積極的に活動できる人の育成は急務です。このため防災サポーターは区と区民の橋わたしとしても重要であり、今後も行政として支援を行う必要があります。				
総合評価	18年2月に避難所情報ボランティアと防災サポーターを統合し防災サポーターとして立ち上げました。当初は登録者間での防災知識及び意欲の格差が感じられましたが、1年間を通しての活動で一体感が生まれてきました。区民に対する防災意識の普及手段として効果的な事業です。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
	改革方針	防災サポーターに対し、図上訓練・ワークショップなどの研修や防災知識向上のための講習を行い、スキルアップを図ります。また、地域の活動の場を広げていき、防災サポーター制度の周知を行います。さらに今後は、防災士の資格をとらせるなどさらなる資質の向上を図ります。					